

■研究プロジェクトの目的

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）とベネッセ教育総合研究所は、乳幼児の生活や発達について縦断的に研究するプロジェクトを共同で進めています。このプロジェクトは、子どもの生活や保護者の子育ての様子を複数年にわたって調査し、それらが子どもの成長・発達とともにどのように変化するのかを明らかにします。これにより、よりよい子育てのあり方や家庭でのかかわり方について検討することを目的としています。

■研究プロジェクトの特徴

1. 子どもの生活や発達、保護者の子育ての「今」をとらえることができる

このプロジェクトでは、2016年度に生まれた子どもをもつ保護者（調査モニター）に対して、毎年1回継続して調査を実施します。これにより、子どもの生活や発達、保護者の子育ての実態などの「今」の様子を明らかにできます。

2. 子どもの成長・発達の「プロセス」をとらえることができる

このプロジェクトでは、子どもが毎年どのように成長・発達していくのか、また保護者のかかわりや意識はどのように変化したり、子どもの成長・発達に影響を与えたりするのかといった、親子の成長・発達の「プロセス」や因果関係を明らかにできます。

3. 母親・父親の意識や養育行動について幅広くとらえることができる

調査実施にあたり、調査票を世帯単位で配布して、「主となる養育者」と「副となる養育者」に回答を依頼しています。そのため、養育行動や子ども・子育てに対する意識について、養育者2名（主に母親・父親）の共通点や相違点を幅広くとらえることができるとともに、夫婦関係が子どもの成長・発達に与える影響なども明らかにできます。

■研究プロジェクトのメンバー

●プロジェクト代表者

秋田 喜代美（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）センター長・教授）

谷山 和成（ベネッセ教育総合研究所 所長）

●プロジェクトメンバー

遠藤 利彦（東京大学 Cedep 副センター長・教授）

野澤 祥子（東京大学 Cedep・准教授）

佐藤 香（東京大学教授）

島津 明人（北里大学教授）

小崎 恭弘（大阪教育大学准教授）

宇佐美 慧（東京大学准教授）

大久保 圭介（東京大学大学院博士課程）

木村 治生（ベネッセ教育総合研究所 主席研究員）

高岡 純子（ベネッセ教育総合研究所 次世代育成研究室 室長・主席研究員）

真田 美恵子（ベネッセ教育総合研究所 主任研究員）

持田 聖子（ベネッセ教育総合研究所 主任研究員）